【第8号】

恵那南地区統合中学校 準備委員会だより

発　行：令和５年９月21日（木）
発行者：恵那市教育委員会
学校統合準備室　26-2111

https://www.city.ena.lg.jp/soshikiichiran/kyoikuinkai/kyoikusomuka/4_1/11423.html

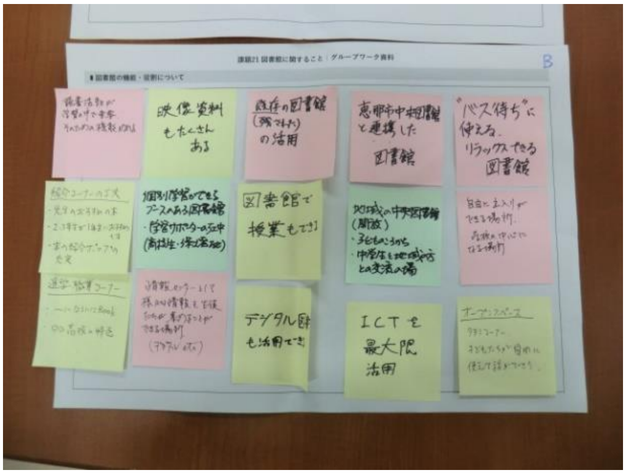
★第3回　教育活動・学校事務部会を開催しました。

日　時　令和5年9月12日(火)　　午後7時から
場　所　山岡中学校　遠隔交流室　　参加者21名

（報告）　事務局より説明がありました。
①新聞報道による調査のため部会が延期となっていた経緯について
②準備委員会理事会「コンセプト案」の協議とその後の予定
③これからの「部会として進めていく」内容

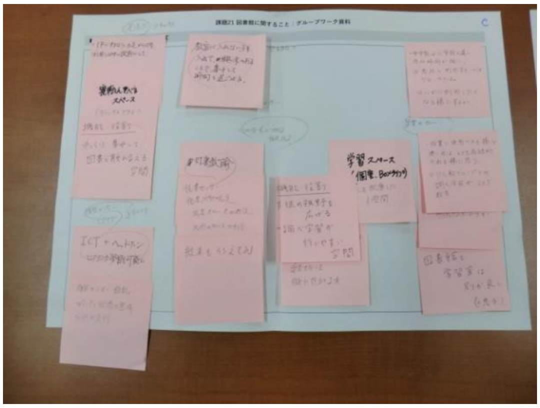
（議題）
課題№21「学校図書に関すること」について　～グループ討議～
図書館の機能・役割、図書館のイメージについて、意見を出し合いました。その後、グループで話し合われた内容を発表し、今後の設計に反映させていくこととしました。

（Aグループ）
・図書館の本質に合うようにしたい。
・落ち着いた広々とした空間、ゆとりがあって、個人と本が多様に関われる。
・木の机、観葉植物等の配置、学ぶ意欲をもてたりする空間。
・読書センターのための図書館と学習センターとしての図書館両方を追求する。
・コンピューター管理、借りたい本の場所がすぐに分かる、読書履歴が分かる、個人が借りた本の傾向が分かる等センターとしての機能をもたせる。
・一人一人がタブレットを持っているので、図書館で活用する。
・電子黒板やデジタル機器を活用したプレゼン発表の場。
・紙媒体で読む子、デジタルで読む子等の個人の学び方に対応する。
・立って読むコーナーを設ける。
・バスの待ち時間に一人で勉強ができるように、1階に待合室を兼ねて、放課後自由に過ごすことができるシステムを望む。
・エアコンを絶対に付けてほしい。



（Bグループ）
・誰もが自由にリラックスして使えるスペースにしたい、バス待ちで利用できるようにしたり、読書・学習センターとしての図書館としたい。
・是非、恵那市中央図書館の機能をもたせ、地域の方が利用する、小さな子が保護者と一緒に本を借りられるように、いつか小さな子がこの学校に通うのだと思いをもてるように、中学生が地域の人と関われる等、コミュニティーの中心的な役割をもたせる。
・図書館司書を常駐させ、貸出時間を柔軟に、ポップを活用して本の紹介、楽しみながら本を選べるように図書館司書の力を借りたい。
・個別で学べる場所があったり、映像スペースがあったり、デジタル図書の閲覧ができたりする場所に。例えば学習スペースには、高校生や地域の方の力を借りて学習サポーター（ボランティア）を配置し、支援ができるような場所にする。
・イメージは　スターバックスのようなモダンで近代的な感じ。雰囲気は、黙々と仕事ができる感じなので、自分に没頭できるような空間にしたい。
・恵那市は木がふんだんにあり、それを利用している学校や施設は他にあるので、あえて、超近代的な造りにしたらどうかと考えた。
・エアコン、床暖房等快適に利用できる環境にしてほしい。そんなことを考えると、ランチルームと図書館をダブルで利用する。学習と読書を分けるとか、地域と学校を分けるとか考えて、両方を図書館にして活用する。

（Cグループ）
・生徒が利用したくなる機能を工夫する。
・学習センターとしては、授業でも活用（調べ学習、少人数等）できるような学習スペースを設置する。
・情報センターとしては、ICT、ヘッドフォンを活用して学習する、Wi-Fi環境を整える、タブレットを活用した学習や情報収集ができる空間にする。
・本を充実させるとともに、図書館司書を常駐させ、本の紹介やどの本を読むとよいなど意図的なアドバイスをしてほしい。
・硬い本だけではなくて、絵本、漫画なども置いてほしい。
・リラックスできるスペース、ランチルームを活用できるなら、外からでも入れるように、寝転べるスペース、集中できるスペースの機能が必要である。
・教室に入れない子も興味をもったことを勉強できる環境。
・誰でも親しみやすい、明るい、開放的、安らげる、くつろげる、ほっとできる空間、その為にはカーペットを敷いた空間などがあるとよい。
・自分の将来をイメージできる、恵南地区を思い浮かべられる、恵南の木材を使用。
・ふるさとの情報と出会える、在校中も卒業後も自慢できる図書館にしたい。



（Dグループ）
・生徒が行きたくなる図書館、本を楽しめるスペースと、みんなで交流するスペースが分かれていることが大切。放課後や夏休み等に学習したり、調べ事をしたりして利用できるようにしたい。
・5つの地域の歴史、今までに地域が発行してきた書籍があると、地域と一緒に歩んでいくべきこと等が分かる。
・一人1台タブレットに対応する電源が必要。ICTを活用して調べ学習ができる。
・地域への開放、5つの地域が一つに集まるので、同年齢だけではなく、異年齢のことも交流ができる場所は必要になる。学ぶ、発表する等ができる多機能な場所。
・図書館司書を配置、地域の人も活用できる場所、購買スペースもあるとよい。
・本となじみのない生徒たちが図書館に足を運べるような場所。
・恵南の木を利用し、温もりもあるスペース、開放的な空間。
・本と向き合う、勉強と向き合う、友達と交流できるスペース、授業でも使えるが分かれているとよい。

≪全体交流の中で出された意見≫
・豊かな意見が出て、深まったと思います。最低限11，700冊必要というだけなので5校が集まれば多くなる。できる限り捨てないで収容するという方向で進めるといいのではないか。そうなると読書スペースは、今の図書館では読書するのも狭い。
・全く新しく素敵な場所を造っていただければシンボルにもなる。山を削ってそこに図書館を造り、新設するのもいいと思います。

（次回会議について）
・今回の部会の意見を設計の参考にし、次回、図書館の設計図について提案すること、地域の特色ある活動、交流活動についての課題についてご意見をいただくこととしました。